

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2007-124084(P2007-124084A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-310899(P2005-310899)

【国際特許分類】

H 04 N 5/335 (2006.01)

H 01 L 21/339 (2006.01)

H 01 L 29/762 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/335 P

H 01 L 29/76 3 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月16日(2008.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに異なる3つの電圧値を出力する3値パルス発生回路であって、

3つの論理素子を含む論理回路部と、前記3つの論理素子の各々の出力によって制御される3つのスイッチング素子を含むスイッチング制御部と、を備え、

前記3つのスイッチング素子それぞれの一端には、互いに異なる3つの電圧値がそれぞれ入力され、他端から電圧値を出力し、

前記論理回路部は、前記3つのスイッチング素子が同時にオン状態とならないように前記3つの電圧値を切り替えて出力するよう制御することを特徴とする3値パルス発生回路。

【請求項2】

請求項1に記載の3値パルス発生回路であって、

前記3つの論理素子のうち1つの出力を他の2つの論理素子のうち少なくとも1つの入力にフィードバックすること特徴とする3値パルス発生回路。

【請求項3】

請求項2に記載の3値パルス発生回路であって、

前記論理回路部は、OR素子及び第1のAND素子及び第2のAND素子を含んで構成され、

前記OR素子の出力は、前記第1のAND素子及び前記第2のAND素子の入力にフィードバックされ、

前記第1のAND素子の出力及び前記第2のAND素子の出力は、前記OR素子の入力にフィードバックされていることを特徴とする3値パルス発生回路。

【請求項4】

請求項2に記載の3値パルス発生回路であって、

前記論理回路部は、OR素子及び第1のAND素子及び第2のAND素子及びマルチバイブレータ回路を含んで構成され、

前記OR素子の出力は、前記第1のAND素子及び前記第2のAND素子の入力にフィ

ードバックされ、

前記第1のAND素子の出力及び前記第2のAND素子の出力は、前記OR素子の入力にフィードバックされると共に、前記マルチバイブレータ回路を介して前記第1のAND素子及び前記第2のAND素子の入力にフィードバックされていることを特徴とする3値パルス発生回路。

【請求項5】

請求項2に記載の3値パルス発生回路であって、

前記論理回路部は、第1のOR素子及び第2のOR素子及びAND素子及びマルチバイブレータ回路を含んで構成され、

前記AND素子の出力は、前記第1のOR素子及び前記第2のOR素子の入力にフィードバックされ、

前記第1のOR素子の出力及び前記第2のOR素子の出力は、前記AND素子の入力にフィードバックされると共に、前記マルチバイブレータ回路を介して前記第1のOR素子及び前記第2のOR素子の入力にフィードバックされていることを特徴とする3値パルス発生回路。